

MBC ラジオ『ココが聞きたい！ドクタートーク』2025.2.15
第 1137 回放送分『新型コロナウイルス感染症の総括』3 回目
ゲスト：西順一郎ドクター

二見いすず

今月のドクタートークは、「新型コロナウイルス感染症の総括」をテーマにお送りしています。

お話は、鹿児島県医師会 西順一郎（にし じゅんいちろう）ドクターです。西さん、どうぞよろしくお願ひいたします。

西順一郎Dr.

よろしくお願ひいたします。

二見いすず

今週は何についてお話しいただけますか。

西順一郎Dr.

今週はワクチンについてお伝えいたします。

現在 65 歳以上の方は、定期接種としてワクチンを接種することができます。JN.1 という流行株をもとにしたワクチンが 2024 年 10 月から打てるようになっており、現在増えてきている XEC 株にも対応できます。3 月まで接種可能ですので、まだ昨年秋以降受けていない方は接種されることをおすすめします。

二見いすず

65 歳以下のみなさんは、ワクチンはどうしたらいいのでしょうか？

西順一郎Dr.

生後 6 ヶ月以上であれば、だれでも任意接種を打つことができます。

二見いすず

ワクチンは、すでに新型コロナに感染した人でも、接種した方がいいのでしょうか？

西順一郎Dr.

はい。ハイブリッド免疫といって、すでに新型コロナに感染した人であっても、ワクチンによってさらに免疫を高めることができます。自然感染よりもワクチンの方が強い免疫が誘導されることがわかっています。以前の免疫では、現在の流行株に対応できませんので、ぜひ現在の新しいワクチンを打ってほしいです。

二見いすず

分かりました。ワクチンもさまざまな製薬会社から出ているようですね。

西順一郎Dr.

現在、5社のワクチンが使用され、それぞれに特徴があります。

ファイザーやモデルナは、以前接種された方も多いかと思います。

第一三共の mRNA ワクチンは、国内で製造されています。

武田薬品のワクチンは唯一組換えタンパク質ワクチンで、副反応が少ないのが特徴です。

Meiji Seika ファルマのワクチンは、1年後も高いレベルで維持されますが、

現在鹿児島で接種できるところはないようです。

二見いすず

ワクチンの効果については、どうでしょうか？

西順一郎Dr.

発症予防効果は 50～60%、重症化予防効果は 50～70%です。

これは、接種しない場合に比べて、接種すると発症リスクが 50～60%低下する、重症化リスクが 50～70%低下するということです。

二見いすず

しっかりとした効果が分かっているんですね。

西順一郎Dr.

また、ワクチンを接種してもかかることはありますが、

もし感染したとしても家族にうつすリスクや後遺症のリスクは減り、

症状も軽くなりますので、もし接種後に罹ったとしてもメリットがあります。

二見いすず

よく分かりました。

今月は、「新型コロナウイルス感染症の総括」をテーマにお送りしています。

お話は、鹿児島県医師会 西順一郎ドクターでした。

西さん、ありがとうございました。

西順一郎Dr.

ありがとうございました。